

## 公立美術館・博物館における「高校生までの入場料無料化」について

長野県県民文化部文化政策課

### 1 目指す姿

- 次世代を担う子ども達が、文化芸術に幅広く親しむことで、人生を通じた豊かな感性や創造力を育むことができる社会を目指す。
- 「長野県文化芸術振興計画」においても、重点的施策の一つとして、子ども達が文化芸術活動に参加できる機会の充実を掲げているところ

### 2 呼びかけの趣旨・背景

- 公立博物館（美術館を含む。）について、博物館法は、入場料の原則無料を定めている。
- 県では、信濃美術館は平成18年から、県立歴史館は平成28年から高校生以下の入場料を原則無料化
- また、平成28年度から、県下の民間施設を含む、美術館・博物館に呼びかけ、夏休み期間中の、中学生以下無料化の取組（ミュージアム・スタンプラリー）を実施  
(令和元年7月13日～9月1日：全157館が参加)

- 美術館・博物館数が全国一多い、本県の特性を活かし、高校生及び18歳未満の子ども達が、原則無料で県内の美術館・博物館を鑑賞できるようにしたい。
- 県の美術館・博物館では、高校生以下の入場料の原則無料化に取り組んでいることから、ご賛同いただける市町村とともに進めていきたい。

### 3 今後の県の取組について

- 令和元年度に県内の文化情報を一元的に発信する新たなウェブサイトを構築  
県が、県内の美術館・博物館の情報を取りまとめ、一体として、県内外に発信したい。  
(2020東京大会の開催年でもあることから、英語などの海外への発信も予定)